**【質問】女子トーナメント原案●番の移動について　２０１８．７．６受理**

**【回答】**

詳しくドローをご覧戴き、中学校ソフトテニス競技へ関心を持って戴けたことに、担当者として改めて感謝申し上げます。

この度は、貴重なご意見を戴けたと思っております。

今回女子トーナメントにおいて、ご指摘戴いたケースについてご説明いたします。

今回の県総体トーナメントは、同一校から複数出場して戴いた層の厚い学校が多数ありました。それゆえ、ドロー編集方針に則り、多角的視点をもって同一校を各山に分散する必要がございました。

このような理由から、トーナメント原案の●番（●シード）は移動の対象となりました。その際、移動先の候補は○番（○シード）、△番（△シード）、□番（□シード）、▽番（▽シード）、◎番（◎シード）、◇番（◇シード）の６つでした。

○番（○シード）→同校内の順位が逆転してしまうため不可

△番（△シード）→他校の分散のために不可

□番（□シード）→他校の分散のために不可

▽番（▽シード）→他校の分散のために不可

◎番（◎シード）と◇番（◇シード）において、地区上位の◎番（◎シード）が相当

上記のような流れになっております。

なお、同一校の移動の原則については雑多なため、細かに公表してございませんでしたが、いい機会ですので関連する一部を抜粋してお示し致します。

何とぞご査証くださいませ。

＜視点２＞参加ペア数が同一校で３ペア以上の場合は各山へ分散させる。

この作業によって「シードの原理」から離れ「番手の原理」に移行するため、

シードの原理から外れることは許容されなければならない。

この際の移動の原則は以下の通り。

＜移動の原則１＞近い２山の同地区縦交換による。

＜移動の原則２＞左右２山の同地区横交換による。

＜移動の原則３＞３山の同地区三角交換による。

＜移動の原則４＞４山の東中西バランスに配慮した複数の他地区交換の組合せによる。

＜移動の原則５＞移動によって同一校内での順位が逆転しないようにする。

＜移動の原則６＞移動は同一校内での最下位のペアから行う。

＜移動の原則７＞移動先の候補が２つ以上あり同等な場合は抽選による。

同一校分散のためのいずれの移動も、＜視点２＞における上記の原則のいずれかにあてはまっているかと思います。ただ、原則には例外が伴います。この度の編成において、同地区対戦が男女あわせて３つ生じております。これらにつきましては、原則に可能な限り当てはめた結果生じた例外（原則を追究すると同地区対決が生じ、同地区対決を回避すると原則に反するという自己矛盾）として、各地区委員長にご承認戴いておりますことを、この場をお借りしてご報告いたします。

さらに近年、ドロー編集の方針やトーナメント原案は、時代の趨勢を鑑み、公明正大に公表させて戴いたところです。このように経過をガラス張りにすることで、ドロー編集の妥当性に対するご意見を請いながら、大会そのものを関係者の方々と共に育てていきたいという願いを込めております。

今後も中学校スポーツの祭典として、県総体ソフトテニス競技を盛り上げ、ソフトテニス発展へ寄与して参りたいと思います。

今後も忌憚のないご意見をお待ちしております。

　　　　　　　　　　　　　　鳥取県中体連ソフトテニス専門部委員長　岡　慎也